

令和6年11月11日

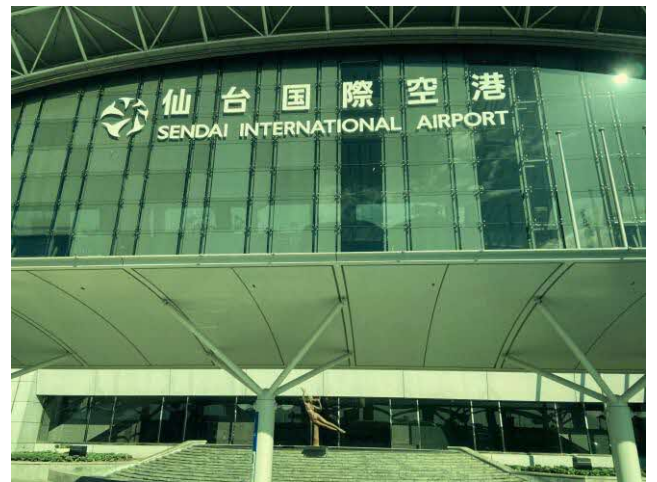
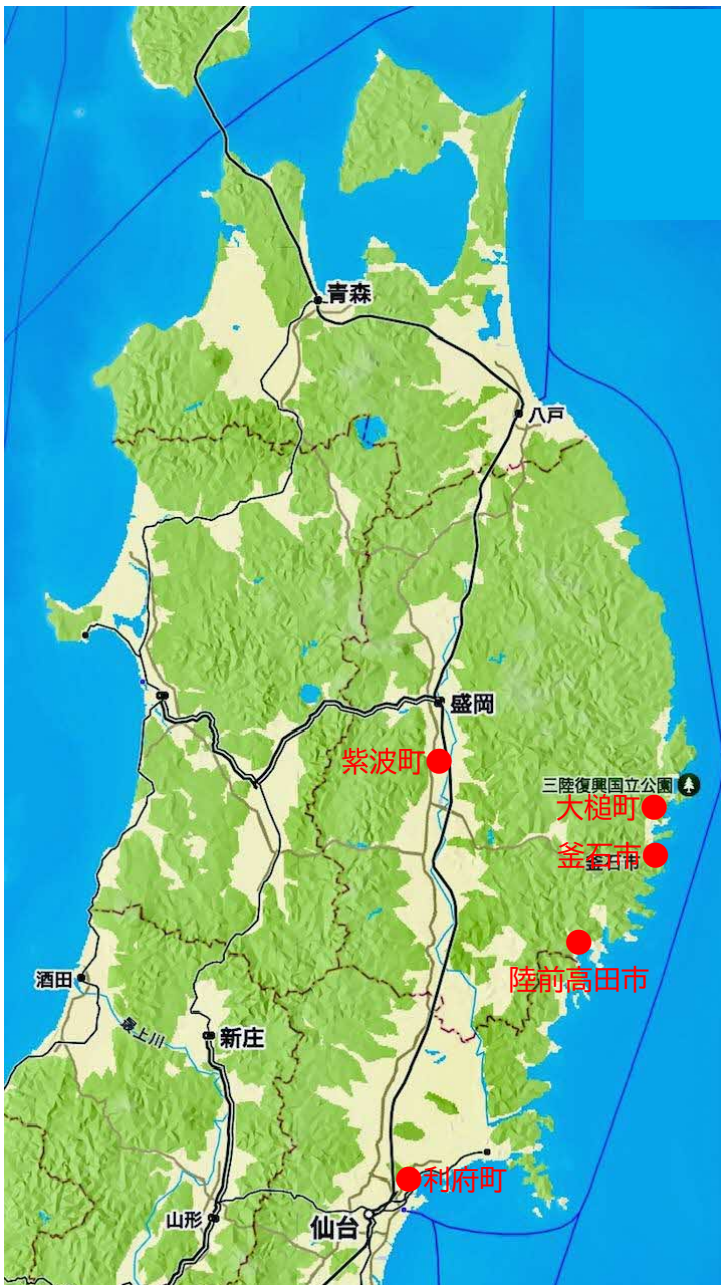
報告者

岬町議会 議長 竹原伸晃

令和6年度

宮城県利府町 岩手県陸前高田市・大槌町・釜石市・紫波町

## 視察研修報告書



### 目次

|                      |    |              |     |
|----------------------|----|--------------|-----|
| 表紙                   | …1 | 岩手県大槌町       | …7  |
| R6.10.23 竹原 SNS 投稿記事 | …2 | 岩手県釜石市       | …8  |
| 視察概要                 | …4 | 岩手県紫波町(オガール) | …9  |
| 宮城県利府町(複合型施設リフノス)    | …5 | 岩手県紫波町議会     | …10 |
| 岩手県陸前高田市             | …6 | 視察全体まとめ・感想   | …11 |

R6.10.23 ☺️岬町議会議員視察研修(宮城県・岩手県)🍷

岬町議会では一昨年山梨県・静岡県へ、昨年は岡山県 3 市町村へ議員全員で視察に行きました。本年は東北地方を計画し、当初予算がついたことから、宮城県・岩手県へ視察の計画を立て、10 月 21・22・23(月～水)で実施しました。不参加は病欠による瀧見議員のみ、議会議員 11 名と、事務局から局長と係長の合計 13 名の御一行です。

目的として分野が 6 つありそれぞれ

- ①宮城県利府町:複合施設「リフノス」施設概要
- ②岩手県陸前高田市:議会 BCP
- ③岩手県大槌町:語り部ガイドツアー
- ④岩手県釜石市:持続可能な観光政策
- ⑤岩手県紫波町:官民連携「オガールプロジェクト」
- ⑥岩手県紫波町:議会改革

をそれぞれ 3 日間午前午後で訪問しました。

それと議会 3 役で役割分担していて

私(議長)は陸前高田市、大槌町

副議長は紫波町(オガール・議会改革)

議会監査は利府町と釜石市

を担当してもらっていました。

①利府町では、公民館機能、図書館機能、ホール機能を合わせ持つ複合施設「リフノス」について、役所内で説明を受けた後、施設の見学をしました。

②陸前高田市では、議会の木村議員と山田事務局長による BCP の説明があり、夕方からは及川議長を始め 5 名の議員(事務局長も)と夕食を共に意見交換会を実施してもらいました。陸前高田市さんは本年 2 月に岬町にある民間事業者「陸水」さんを視察されており、行政(産業観光促進課)と私も一緒になって意見交換した間柄であり、機会があれば来て下さいとの事でしたので、すぐに機会があって伺わせてもらったのでした。

実際に 2011 年の東日本大震災のお話を聞くと、人間の心理面がどう作用するのか、準備できるものとできないもの、出来ることできないこと、生のお話でした。貴重な経験でした。

③2 日目午前は大槌町に入り、語り部ガイド五十嵐蘭さんのお話を聞く機会でした。当時は中学 1 年生、当時の話、それからの話、現在の話を、旧役場庁舎跡地、避難先高台の公民館から町を見下ろしながら、そして港からかさ上げされた住宅を見ながら、約 2 時間に渡り現地を案内してくれました。陸前高田市のお話もそうでしたが、体験された方の心からの声は、想像を遥かに超えます。今しなければならないこと、出来ることを 1 つ 1 つ 1 つ進めていくだけです。

④お昼ごはんは海の町テラスにて天井をいただきました。この施設もプロジェクトの一環のようです。そして釜石市役所にて、オープンフィールドミュージアム構想の説明を聞きました。持続可能な観光政策を進めておられました。元からある観光協会さんと仕事の棲み分けがなされていて、魅力的だと感じました。

⑤紫波町のオガールインさんで宿泊しました。そして 9:30～オガール(官民連携による町有地の有効利用)について説明を受けました。ここは、岬町議会だけの参加ではなく、神奈川県藤沢



市から商工会議所の皆さん約 20 名、北海道の森町から 4 名の職員さんが同時に説明を受けました。説明者は当初から取り組まれている八重嶋さんで、資料をもとに詳しく説明いただきました。質疑応答もたくさんあり、事業の概要を知ることができました。そして施設案内では、図書館エリア、産直施設エリア、体育館エリア、サッカーエリア、保育所やお店が入ったエリアなど、多岐に渡る施設でした。当時の町長と民間人のさんが描いたコンセプトがブレずに実現された形を見ることができました。

⑥昼食はオガールの「ごんす」さんでいただき、徒歩 2 分で紫波町役場に到着し、3 階の会議室にて議会改革の取り組みについて研修しました。説明者は議会運営委員会の熊谷委員長と武田議長、熊谷事務局長でした。紫波町の改革の説明を約 30 分で聞き、質疑応答では、岬町の取り組み発表も含めて約 1 時間半に渡り意見交換ができました。

番外編として、道の駅「遠野」、道の駅「平泉」にてお買い物をしました。岩手県は地理的に滅多に来ることがないものですから、立ち寄れてよかったです。

関空から仙台空港は往復ピーチ利用、仙台からはバス会社(女性運転手加藤さん)安全運転ありがとうございました。

以上が研修の要約ですが、1 ヶ月以内に研修レポートを提出することになっています。選挙手伝いが落ち着いたら取り組みたいと思います。

このメモは帰りの飛行機の中でメモしたものです。写真はバラバラありますが、みんなで記念撮影したものを主に載せました。

最後までお読みいただきありがとうございました。



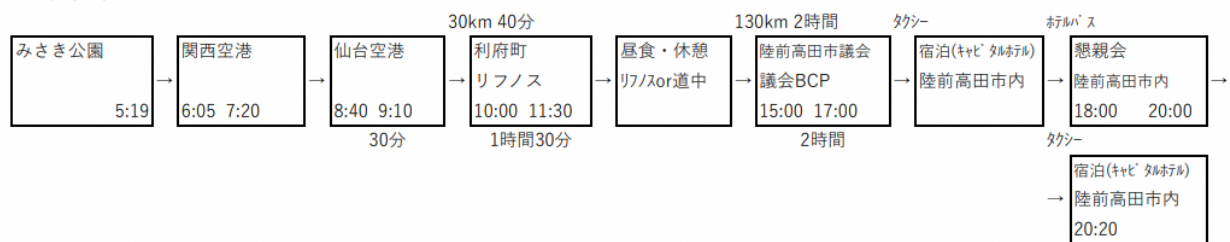
## 1) 視察目的

先進的な取り組みを見聞することで、岬町において進められものを見つける。

- ① 宮城県利府町:複合施設「リフノス」施設概要
- ② 岩手県陸前高田市:議会 BCP
- ③ 岩手県大槌町:語り部ガイドツアー
- ④ 岩手県釜石市:持続可能な観光政策
- ⑤ 岩手県紫波町:官民連携「オガールプロジェクト」
- ⑥ 岩手県紫波町:議会改革

## 2) 実施日・行程

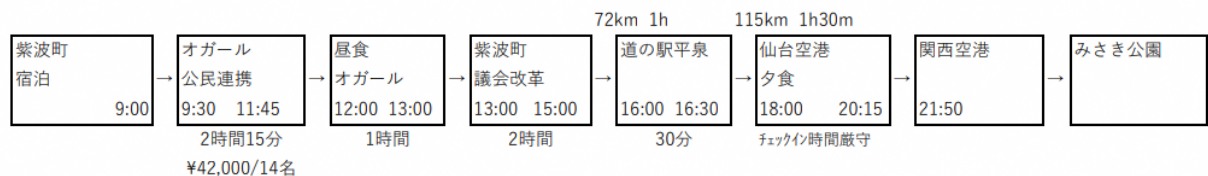
### 1日目(10/21)



### 2日目(10/22)



### 3日目(10/23)



## 3) 視察費用

- 宿泊費用 キャピタルホテル1000(陸前高田市)  
オガール INN(紫波町)
- 移動費用 関空～仙台空港(ピーチ) 橋通行料・駐車場代  
新栄観光バス3日間 駐車場費・燃料費・高速代
- その他 視察受入れ手数料及び研修先への手土産費用  
議員1人当たり 約9万円(詳細は後日決算にて)

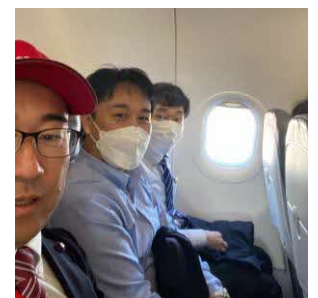


関西空港⇄仙台空港はピーチで

## 4) 出席者

- 岬町議会議員 竹原伸晃 (議長)  
他10名(瀧見議員<病欠>を除く)  
事務局より増田局長・池田係長2名が随行

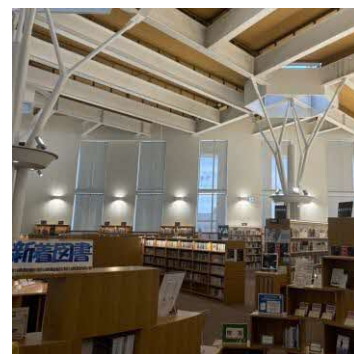
※米原課長は3日間留守番役



ピーチ機内  
(奥)増田局長・(中)池田係長

## 5)視察① 宮城県利府町(複合施設「リフノス」施設概要)

対応者 利府町議会 鈴木忠美議長 川口優局長  
教育委員会 古澤晃一課長 鈴木厚広係長 鎌田功紀主幹  
リフノス図書館 今野宏館長



大胆な鉄骨の柱が特徴的

### ●研修内容

#### ・リフノスあらまし説明

第4次総合計画(H12)に盛り込まれた図書館建設の実現に向けて  
議員発議による利府町文化芸術振興条例(H18)など、積極的に文化活動を推進  
社会情勢の変化や東日本大震災により一時中断  
第5次総合計画(H23～32)に文化施設を含めた複合施設の整備を検討

#### 文化交流センター(第1期)

構成施設 図書館・公民館・文化会館(多目的ホール)・カフェレストラン

構造-階数 鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上2階一部3階

延べ床面積 5,308.01 m<sup>2</sup>

総事業費 48 億 3,317 万 9 千円

社会資本交付金 8 億 3,788 万 3 千円

二酸化炭素排出抑制補助金 7,567 万 8 千円

起債 25 億 1,540 万円

寄附 255 万 162 円(グランドピアノ購入のため)

- ・施設の特徴「エコツリー」 利府の巣→リフノス
- ・開館以来延べ来館者 61 万 7,726 人 (人口で割ると 1 人当たり 17 回)
- ・重視する考え方 … 生涯学習活動を支援する拠点形成、町の復興、町のシンボル
- ・一番重視したのは … 複合化施設により新たな出会いや喜びが集まり、町の魅力を発信していくような拠点整備
- ・基本設計ワーキンググループを計 8 回実施し、住民の多様な意見が反映されている
- ・管理運営計画の住民ワークショップも検討結果を「かわら版」で公開したのも必要な作業

### ★利府町を視察した感想



図書館の一部を読み聞かせスペースとしている

全国でも視察されるこの施設。多大な費用がかかっているが利用率も高く、住民に喜ばれている感じがした。  
住民の方々が本を読む習慣のある方が多く、ニーズがあったのも成功の要因とのこと。  
運営に当たって、このリフノスだけでなく、周辺自治体の図書館と相互のやりとりがあるのも、地域の特徴をうまく捉えられていた。  
また、図書館で宿泊体験イベントなど、子ども達にも喜ばれる取組みもアイデアが斬新だった。

利府町(リフノス)研修報告以上



## 6)視察② 岩手県陸前高田市(議会 BCP)

市役所到着前に立ち寄った東日本大震災津波伝承館 (約15分)



大きな堤防の向こうには若木が育つ



室内には損壊した消防車両が展示されていた



献花台には悲しみが残る

研修対応職員 陸前高田市議会 木村聡議員 山田壮史局長

### ●研修内容 議会BCPについて

- ・何のためのBCP? … 行政がしていることをサポートする(徹底する)
- ・議会が動くときは全体で? … 議員個人で動くと大変
- ・何が大変? … 議員の安否確認が大変! 議員からの報告、家族からの報告

### ●岬町議員からQ&A

- ・連絡用のアプリって? … WowTalk アプリ と サイドブックス
- ・行政当局は初動で? … 議会で初動はしない、中期・長期は議員の働きかけが必要
- ・議会事務局長は? … 局長は災害対策本部へ
- ・策定に行政とのすりあわせは? … あまりなかった
- ・BCPの訓練は? … 年1回、安否確認の訓練のみ 上記アプリで

### ◎竹原からQ&A

Q)議会議員は変わっていく、BCPの申し送り(新人研修)はされているのか?

A)特にしていない、しかし今回の機会のように私(木村)が説明しているのがその機会かも  
次の議員へ申し送るマニュアル作りなど今後の課題だ



新庁舎の整備が完了した  
議会の委員会室にて

### ●18:00~20:00 議員親睦会を開催

(陸前高田市議会)及川議長・鵜浦副議長・  
伊勢議員・菅野議員・小林議員・山田局長  
(岬町議会)視察参加者全員

- ・議員が2名、事務局3名亡くなったこと
- ・及川議長より2月の岬町研修のお礼と  
震災前から残っている議員の責任感
- ・鵜浦副議長の前職は東海新報の記者
- ・伊勢議員は共産党の議員、生活密着
- ・菅野議員が岬町の「陸水」を見つけた
- ・小林議員は1期目、他所から移り住んで

### ★陸前高田市を視察した感想

東日本大震災で壊滅的な被害があったまち。しかし、実際に聞いてみると、被害があった地区となかった地区があり、被害があった地区は悲しみに暮れ、被害がなかった地区の者は声をかけられなかった現状があったようでした。

そこで重要となってくるのが「BCP」であり、予め議員の行動を決めておくことにより、必然的に声をかけることになる、それはとても重要とのことでした。現場の生の声で、人の心の動き方を知ることができ、今後の自分自身の役割を認識できました。

陸前高田市報告以上

## 7)視察③ 岩手県大槌町(語り部ガイドツアー)

### ★背景

震災直後の大槌町に、泉州南消防組合から派遣され救助活動されていた早川議員の要望により実現したツアー参加。震災から13年経て変わったものは何か、変わらぬものは何か、人はどうなったのか？これからどうなるのか？伝えてくれた。

### ●視察内容 (ガイド五十嵐蘭さんがこちらの車に乗り込み案内しながら現地に降り立ち説明)



旧役場は解体し現在は野原となっていた



震災当時中学1年生の五十嵐さんの体験は

地震が発生し、高台の公民館に設置するはずの災害対策本部が役場前の駐車場に設置された。住民の情報は役所前が一番得やすい。

津波が来たときにはすでに高台に向かうこともできず役場庁舎の上階へ向かうが屋上に上がったのは15名だけ、責任者の町長も他の職員と一緒に。



津波到達はとてつもない高さまで

役場前からバスで移動しお寺(江岸寺)前駐車場で下車、墓地の間を急勾配の坂道と階段を登る。途中に「津波到達の地」の碑があった。当日の混乱の中、高齢者や障がい者、子どもも協力して駆け上がるがこの高さまでたどり着かなかった者はほとんどが犠牲に。震災復旧の場面では、新たなまちづくりの計画を立てる大人と、五十嵐さん達当時高校生が微妙な関係に。そして旧役場を残す残さない議論で町民が分断されることに。町を離れた者、残った者、帰ってきた者、帰りたくても帰れない者の現在が今なお続いている。

復旧は、かさ上げされた土地に移る者、巨大な堤防に守られる者、住民の心の支えは何だったのか。現地でしか聞けない話だった。



計画ではここに災害対策本部ができるはずだったが

### ★大槌町ツアーガイドに参加した感想

バスに乗って大槌町に入るとき早川議員を見ていると、スーパーに反応されました。ここが津波到達の最前線だったと。遠くにある海岸線からここまで押し寄せた津波、その海側の惨状を細かく教えてくださいました。五十嵐さんの話と掛け合いがあり、普通に参加するより多くの情報を知ることができました。

岬町ではこのような大きな津波は想定されていませんが、あくまで想定であり、計画を立てたことには意義があるので、着実に実行しなければいけません。

大槌町報告以上



## 8) 視察④ 岩手県釜石市(持続可能な観光政策)

対応者 株式会社かまいしDMC 代表取締役 河東英宜 氏  
独立行政法人 国際観光振興機構 茅野慎吾 氏  
釜石市産業振興部商工観光課 前川靖展 係長  
釜石市議会 千葉榮 議長

### ●研修内容

#### DMOによる観光地域づくり あらまし説明

- ・釜石市は企業城下町、他人を受入れる環境が整っていた
  - ・インスタグラムがはやり始めた頃から実施して注目を浴びていた
  - ・ラグビー日韓ワールドカップで、スタジアムに多くの外国人来訪、チームの合宿も受入れ
  - ・外国人観光客は、アジア系より欧米系が多い
  - ・2018年ラグビーワールドカップを契機にDMOを設立した
  - ・アワードを受賞したことで、次の決めごとをスタッフみんなで共有しやすくなった。
  - ・DMOの社長は最初3年間野田市長、その後に河東氏が引継いだ
  - ・持続可能な観光は経済活動の充実とつながる
  - ・周りを巻き込んでサステナブルツーリズムを展開した
  - ・企業版ワーケーション、企業研修を多く受入れた(営業活動無し、全て口コミで)
  - ・観光協会さんとは得意分野が違うので仕事が被らないように調整できた
- 観光協会・・・管理しない観光(イベントなど) DMO・・・管理する観光(働き口など)

#### ◎竹原質問2点

Q)住民から復興政策を優先させるべきとの声が上がらなかったのか？

A)東日本大震災から生活再建にある程度目処がたった時ぐらいから、観光政策が始まった。

Q)観光政策は復興に重要だったのか？

A)常に市民にアンケートを取りながら進めていた。今の釜石があるのは観光があるから。



観光は1日にしてならず、継続と色々な取り組みが必要



釜石市役所前にて  
河東氏(中央)と茅野氏(右)

### ★釜石市を視察した感想

釜石市は新日鉄の企業城下町で、私たち岬町の隣の和歌山市は住金の企業城下町です。そして私たち岬町は関西電力の企業城下町です。大企業が撤退され、新たな企業誘致も大変重要だけれど、企業誘致は何も大企業だけではないはずで、この研修のように、しっかり計画を立て、人財を育て、働く場所をつくり、活気を取り戻すことができます。これからの岬町のために、参考になった視察でした。

釜石市研修報告以上



## 9)視察⑤ 岩手県紫波町(官民連携「オガールプロジェクト」)

対応者 オガール紫波株式会社 代表取締役 八重嶋雄光氏

●研修内容 「オガール」あらまし ※説明会は岬町議会の他に2団体(神奈川県藤沢商工会議所ご一行、北海道森町職員ご一行)も合同にて



オガール全景



研修風景(議員側)



研修風景(プロジェクター側)

- ・オガールとは成長(おがる)+駅(ガール)を組み合わせた造語
- ・基幹産業は農業の町だった。公民連携のまちづくりを目指してH19年から藤原前町長と土建屋2代目岡崎氏が取組む
- ・1社が開発したのではなく、1つ1つ別の業者が建設した
- ・個人資産が多い旧役場周辺ではなく、田畑に新設
- ・まちづくりへの出資金、町民 1 万円、日詰地区 9 万円、重要人物 300 万円
- ・どの場面でも倒産しないような体制で進めていった
- ・全て町内事業者で建設、業界に還元する
- ・雇用の創出は 289 名



オガールの施設見学(図書館)

### Q&A の回答

- ・暮らしの町をつくって利用者が減っても心配していない
- ・官にすると民が使えるかどうか？民にすると官にパブリックマインドがあるかどうか
- ・最初から補助金を期待していない。時間がかかる、もらった後も大変、制約が多すぎる
- ・100 年後の子どもたちに「未来宣言」きんたろうあめのまちづくり
- ・紫波町地区創世会議・・・ファシリエーターの育成、住民の意向をすぐに反映できる



オガールの施設見学(産直販売所)

### ★オガールを視察した感想

東北地方の山間部、鉄道駅前の宿場町の反対側に田畑が広がり、その町有地の有効利用を目指し、官民が協力して作り上げたのがオガールでした。

計画を立てて必要なものをこのエリアに集めると決めているので、必要性の高いものから順に建設し、それぞれが資金計画を立てて独立採算であることに驚きました。

集合体として出来上がった町を見学でき、正直に、なかなか真似できない唯一無二のまちづくりだと思いました。

オガール研修報告以上

## 10)視察⑥ 岩手県紫波町(議会改革)

対応者 紫波町議会 武田平八議長 熊谷育子議運委員長 熊谷欣弥局長

### ●研修内容 「議会改革の取り組み」

事前 Q&A の回答(竹原質問分)

Q)平成 20 年から実施している自由討議について  
どのようなやり方、開催頻度、どのような効果か？

A) 予算決算委員会で自由討議を求める動議が出て、理事者を退席させ、委員 1 人 1 人から発言してもらい、後に採決を行ったことがある。本会議での討論だけでなく、各議員の考えを聞く自由討議をすることで、自分の考えをまとめ、採決に向かうことができる。

Q)議会報告会について、住民と意見交換の場はあるのか？

A) 活動報告を15分、意見交換を60分設けている

その他・各議員の Q&A など

Q)報告会の開催方法は？

A)事務局判断で、4班に分けて実施

Q)議員報酬改定は難しかったか？A 孝子

A)定数20→18になったこともあり、おおよそ賛成

Q)基本条例は必要か？A 孝子

A)積み上げたものを無くしてしまわないために

Q)通年議会は日程いつ決める？

A)年度初めに1年分

Q)政務活動費・視察費用はいくら？

A)年間6万円。視察費用は4年任期のうち1回が13万円、3回が10万円

Q)議会モニターに応募があるのか？

A)現在4名

Q)倫理条例もあるようだが？

A)ハラスメント防止を組み込むため見直し中



視察風景① 岬町側 始まり挨拶松尾副議長より



視察風景② 紫波町側 終わりの挨拶奥野委員長より

### ★紫波町議会を視察した感想

大阪府と岩手県で地域が違っても、議会改革に対する熱意は同じだと思いました。しかし、改革の歩みや、基本条例策定の経過を見ていると、議論の積み重ねの厚さが違うのに気づきました。そして志波町は住民から信頼され、評価される「議会」を目指して取組まれていました。岬町での議論は、議会改革委員会メンバーと、委員会以外メンバーとの温度差がかなりあるのも事実で、改革に費用がかからないものから実施して、実績をつくり、次に安価なものから、常に実績を上げていくことが不可欠と再認識できました。

紫波町研修報告以上



## 11)その他・番外編・全体まとめ

東北地方へ視察に来るのは数年ぶり。そして岩手県の沿岸部へ。今回、陸前高田市の議員の方にご縁をいただき、研修後に意見交換を兼ねた親睦会を開いてもらった。

テレビの特集などで震災の体験等は知ってるつもりでしたが、知らないことばかりだった。子どもを亡くした家族、逆に子どもだけが助かった、家も財産も全部ない。当事者の気持ちを察することができない。議会議員だったとしても、その当事者に声をかけることができない、そのためのBCP、必然的に取組まなくてはならないことを先に決めておくことが重要。

大槌町で語り部五十嵐さんの話を聞いた。住民の意見が対立しているところを子どもの視線からみたら、お願いやめてとなる。そんな話も聞いたことがなかった。私たちはいかに平穏な地域で過ごしていることか。

番外編では、道の駅「遠野」と、道の駅「平泉」に立ち寄ったこと。それぞれ名の通った観光地であることから、期待感いっぱいだったのだが、どちらかという普通の道の駅だった。残念感もありながら、もうちょっと時間的に余裕があったなら、少し足を伸ばして毛越寺や中尊寺も行けたのだろうが、それは今後の人生の楽しみにとっておくことにする。

### ★全体まとめ

今回は過密なスケジュールでの視察になりました。1つ行動が狂えば全体に影響があるので、慎重に進めました。

釜石市、オガール(紫波町)では視察受入れメニューが完成していて、逆に興味が沸きにくかったのですが、部分的には気づきもありました。陸前高田市議会と志波町議会の視察は議員との交流もあり、これからの岬町の取り組みにすぐに活かしていけるように感じました。

今回の視察で受入れていただいた方々に感謝し、成果をしっかりと岬町の町政に反映できるよう、取り組んでいきたいと思ひます。



津波伝承館は国の施設。費用もかかるが、必要な場所。

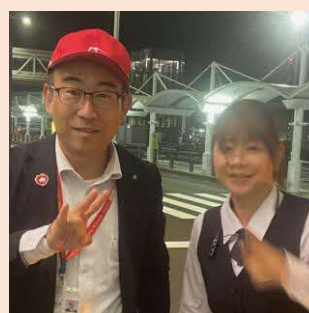


大槌町の高台から現在の堤防を望む



天丼ランチ 1,400 円

行程中の昼食と夕食計6食分は実費負担。視察2日目の昼食は、魚河岸(うおがし)テラスで天丼をいただいた。まちの特産物を詰め込み名物だった。



新栄観光バス(株)の加藤運転手

視察当初は費用を浮かせるためレンタカー2台で移動することも検討したが、安全面を配慮してバス移動を選択した。3日間安全運転で大変ありがたかった。